FMCでのAnyConnect Umbrella Roamingセキュリティモジュールの導入

内容

はじめに

前提条件

要件

使用するコンポーネント

概要

AnyConnect UmbrellaモジュールのインストールとFMCからのダウンロード(登録 ユーザ専用):

<u>オプション:VPNローカル認証(FMC 7.0以降が必要)</u>

追加情報

はじめに

このドキュメントでは、Cisco Firewall Management Console(FMC)を使用してAnyConnect Umbrella Roaming(UMBRELLA)セキュリティモジュールを導入する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Umbrellaダッシュボードへのアクセス
- Cisco Firewall Management Console(FMC)バージョン6.7以降へのアクセス。このバージョンでは追加のAnyConnectモジュールのサポートが追加されています。6.7より前のバージョンでは、モジュールの導入にFlexConfigを使用できます。詳細については、シスコのドキュメントを参照してください。
- AnyConnect Umbrellaモジュールプロファイル(orginfo.json)
- AnyConnect VPN設定はすでに完了しており、FMC/FTDで機能しています。

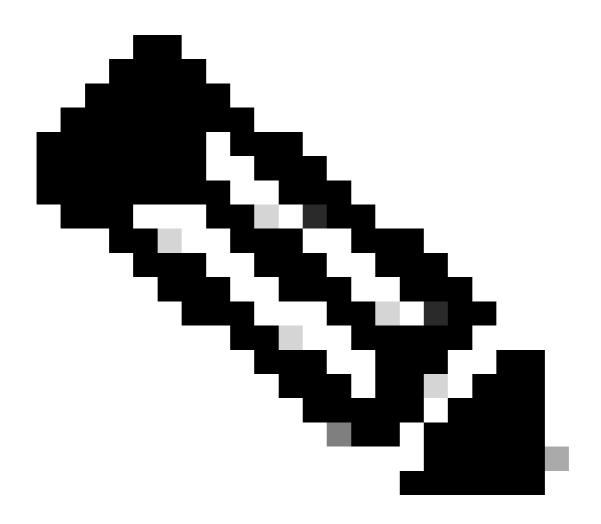
使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- AnyConnect Umbrella Roamingセキュリティモジュール
- バージョン6.7以降のCisco Firewall Management Console(FMC)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始していま す。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認して ください。

概要



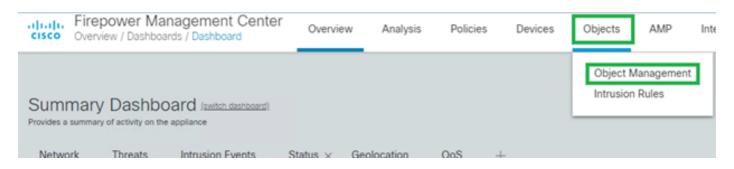
注:シスコは2023年にCisco AnyConnectのサポート終了を発表しました。シスコは2024年4月2日に「End-of-Life for Umbrella Roaming Client」を発表しました。サポート終了日は2025年4月2日でした。Cisco Umbrellaをご利用のお客様の多くは、すでにCisco Secure Clientへの移行のメリットを享受しています。より良いローミング環境を得るために、できるだけ早く移行を開始することをお勧めします。ナレッジベース記事「How do I install Cisco Secure Client with the Umbrella Module?」の詳細を参照してください。

この設定ガイドでは、バージョン6.7以降のCisco Firewall Management Console(FMC)を介してAnyConnect Umbrella Roamingセキュリティモジュールをプロビジョニングする手順について説明します。

AnyConnect UmbrellaモジュールのインストールとFMCからのダウンロード(登録ユーザ専用):

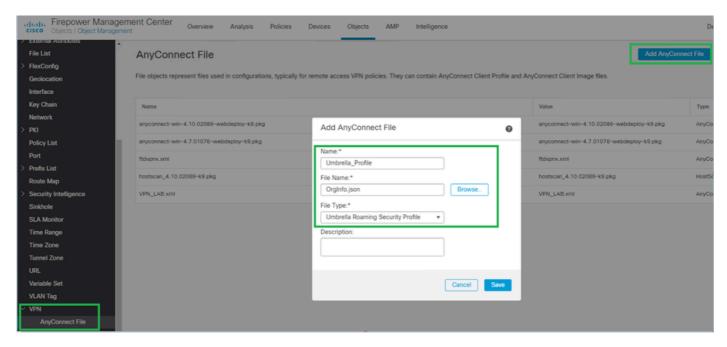
AnyConnect UmbrellaモジュールのインストールまたはFMCからのダウンロードを有効にするには、次の手順を実行します(FMCでのダウンロードが必要な場合)。

1. Objects > Object Managementの順に選択します。



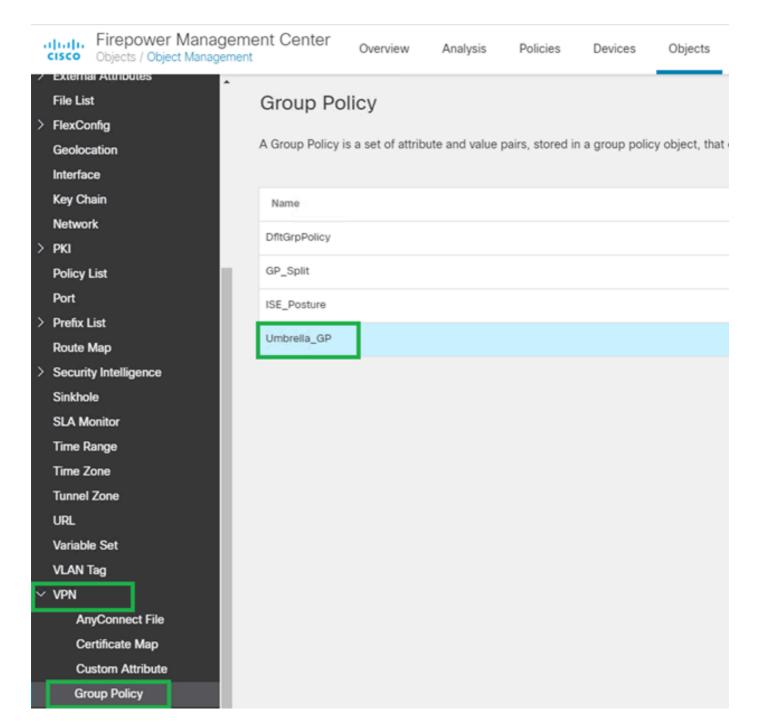
8178144512532

- 2. VPN > AnyConnect File > Add AnyConnect Fileの順に移動します。プロファイルの名前を設定します(ローカルで有効)。
 - Cisco UmbrellaダッシュボードからダウンロードしたJSONを参照します。
 - File Typeで、Umbrella Roaming Security Profile を選択し、Saveを選択します。



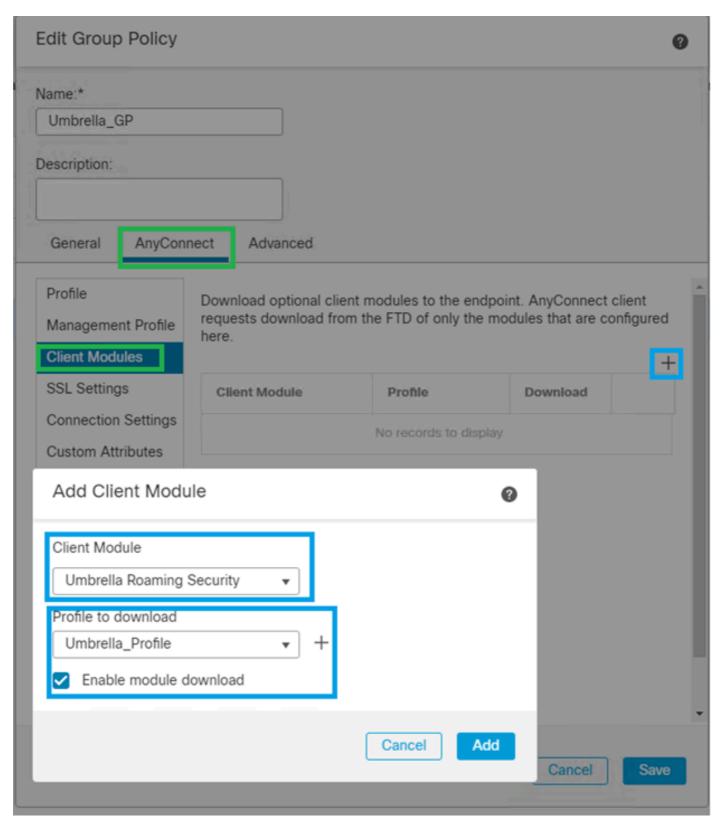
8178144531860

3. ここにあるGroup Policyを選択してから、Umbrella(この場合は「Umbrella_GP」)を展開するために使用しているグループポリシーを選択します。



8178147609492

- 4. AnyConnect > Client Modules > Add Client Moduleの順に選択します。
 - Client Moduleで、Umbrella Roaming Clientを選択し、Profileを選択して、ステップ2で定義したプロファイルをダウンロードします。
 - AnyConnect経由で接続するユーザがUmbrella JSONプロファイルを自動的にダウンロードできるように、Enabled module downloadが選択されていることを確認します。



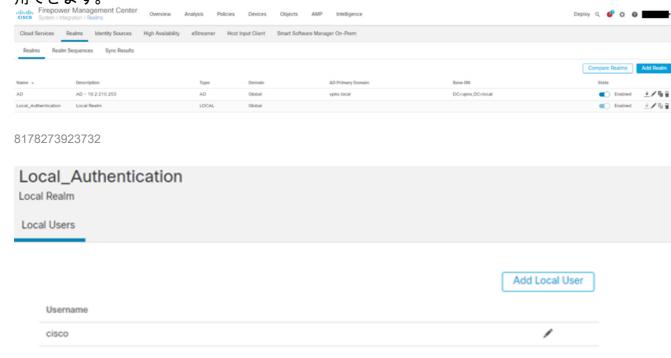
8178147636628

オプション: VPNローカル認証(FMC 7.0以降が必要)

FMC/FTDでローカル認証を使用して別のプロファイルをテストするには、次の手順を実行します(FMC 7.0以降が必要です)。

1. ローカル・レルムを作成します。

- ローカルユーザ名とパスワードはローカルのレルムに保存されます。
- レルムを作成し(System > Integration > Realms)、新しいLOCALレルムのタイプを選択すると、1人以上のローカルユーザを追加するように求められます。
- 2. ローカル認証を使用するようにRA VPNを設定します。
 - RA VPNポリシーを作成または編集します(Devices > VPN > Remote Access)。
 - そのポリシー内に接続プロファイルを作成します。
 - その接続プロファイルで、プライマリ、セカンダリ、またはフォールバックの認証サーバとしてLOCALを指定します。
- 3. 作成したローカルレルムをRA VPNポリシーに関連付けます。
 - RA VPNポリシーエディタで、新しい**Local Realm**設定を使用します。ローカル認証を使用 するRA VPNポリシーのすべての接続プロファイルは、ここで指定したローカルレルムを使 用できます。



8178144714388

追加情報

<u>Cisco Firewall (旧称Firepower)リリースノート、バージョン7.0.x</u>

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照することを推奨します。